

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立小松川第二中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	65.0%	65.0%
令和 7 年度の目標	65.0%	65.0%
令和 6 年度の結果	60.0%	60.0%
令和 5 年度の結果	56.2%	59.3%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	42.9%	55.7%	51.0%
第 1 学年	53.0%	54.5%	56.8%



	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・前時の復習や既習事項の確認の時間を授業内で必ず5分行う。 ・主体的・対話的で深い学びを意識して、各授業内で学び合いや教え合いを意識した授業展開をする。 ・読書科で得た探究の方法を横断的に他教科に活用する。	・ミライシード「ドリルパーク」の活用をし、各教科で課題を配信する。 ・国語、数学、英語の各教科でコンテストを毎学期実施する	・その日の授業のテーマになった学習課題をミライシード「ドリルパーク」で配信する。 ・各教科で行われるコンテストに向けて、学習時間を確保し基礎・基本の内容を定着する。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・授業中に複数回の机間指導を行い、基礎・基本の内容を習得できるように支援する。 ・全員が自信をもって答えられるような問題を提示し、自己肯定感を高める。	・放課後学習教室(EDOスク)の事業者と連携して、支援を実施する。 ・授業内、授業の前後で声をかけ、基礎・基本の習得を図る。	・復習のしかたや副教材のワークの取り組むべきページを指示する。 ・ミライシード「ドリルパーク」の課題配信に取り組むように支援する。
成果指標	・区学力調査 - 授業で「できた」「わかった」と感じる割合が多いと思う割合 78.0%→85%	・区学力調査 - 学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次につなげることができている。 71.0%→85%	・全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」 1時間以上の回答割合 73.7%→85%